



▲大内宿（南会津郡下郷町）

全ト協

- 引越事業者優良認定制度(引越安心マーク)

県ト協

- 内堀知事に年頭のあいさつ
- 「高校進路アドバイザーと福島県トラック協会との意見交換会」の開催結果報告!
- 平成29年度各種助成事業執行状況
- 平成30年度優良従業員被表彰者の推薦について
- トレーラの適正な使用等に係る研修会を開催

陸災防

- 技能講習等実施予定
- 第2回「安全衛生レベルアップ支援事業」研修会を開催
- 平成29年度第4回陸災防支部委員会を開催

適正化

- 135事業所が新たに安全性評価事業所(Gマーク)認定
- Gマーク認定ステッカーの適切な使用について
- 安全性優良事業所(Gマーク事業所)に係る主な輸送品目及びホームページのリンクについて
- 運行管理者試験対策模擬テストについて

支部

- 県北支部がボウリング大会を開催
- 会津支部が安全大会を開催
- いわき支部が安全運転ドライバー研修会を開催

県ト協 内堀雅雄知事に年頭のあいさつ

右近八郎会長、荒川孝一専務理事、伊藤幹夫副支部長（県北支部）、穂積央男事務局長、吉田隆業務部長は内堀雅雄知事への年頭のあいさつで1月5日(金)に福島県庁を訪問した。

トラック協会としては、トラック運送業界が抱える諸問題等について説明し、今後におけるトラック運送業界への支援を内堀知事へ強く求めた。



内堀知事からは、震災後の復興支援に関連し、新年度以降本格稼働する汚染土壌の輸送について、トラック運送業界からの今後益々のご協力を賜りたいとの要望を受けた。

また、福島県庁以外にも福島運輸支局、福島県警察本部、福島労働局、福島民報社、福島民友新聞社、商工中金福島支店へ訪問し、トラック運送業界への更なる支援及び協力要請を踏まえてあいさつした。

CONTENTS

全	ト	協	引越事業者優良認定制度（引越安心マーク）認定事業者定を公表……………	12
県	ト	協	内堀雅雄知事に年頭のあいさつ……………	2
			「高校進路アドバイザーと福島県トラック協会との意見交換会」の開催結果報告!……	3
			平成29年度 第5回理事会……………	4
			人事異動……………	5
			平成29年度各種助成事業執行状況……………	6
			平成30年度優良従業員被表彰者の推薦について……………	7
			トレーラの適正な使用等に係る研修会を開催……………	15
			会員だより……………	15
			2月の行事予定……………	18
適	正	化	135事業所が安全性評価事業所（Gマーク）認定……………	8
			Gマーク認定ステッカーの適切な使用について……………	10
			安全性優良事業所（Gマーク事業所）に係る主な輸送品目及びホームページのリンクについて…	11
			運行管理者試験対策模擬テストについて……………	13
支		部	県北支部がボウリング大会を開催……………	11
			会津支部が安全大会を開催……………	11
			いわき支部が安全運転ドライバー研修会を開催……………	15
協	同	組	ふくトラネットワーク協同組合 KIT情報……………	18
陸	災	防	技能講習等実施予定……………	14
			第2回「安全衛生レベルアップ支援事業」研修会を開催……………	14
			平成29年度第4回陸災防支部委員会を開催……………	14
お	知	ら	音声ガイダンスの導入について……………	5
せ			交通事故統計……………	18

県ト協

「高校進路アドバイザーと福島県トラック協会との意見交換会」の開催結果報告!

わだち1月号に掲載しましたが、県北支部で12月14日(木)に福島市のコラッセふくしま、県中支部では同月21日(木)に郡山市の郡山ビューホテルアネックスにて、高校新卒者のトラック運送業への就職促進を目的に、上記の意見交換会を2回開催しました。

意見交換会には、県立・私立高校の進路アドバイザー、トラック協会の各地区理事のほか、福島労働局、福島人材派遣センターの担当者が参加し、それぞれの立場で活発な意見交換をいたしました。

事前に高校及び県トラック協会から提出されていた質問・意見に対して、それぞれ回答し、それを基に意見交換を展開しましたが、高校側からのトラック協会への意見・要望等に関する主な内容は次のとおりです。



【県中支部開催の状況】

1 高校の就職進路指導で重視している点

①企業の業務内容、②休日・就業時間、③給与・手当、④免許・資格取得の支援体制、⑤福利厚生等

2 高校（教師・生徒）から見たトラック運送業へのイメージ

「きつい、つらい、きけん、休みがとれない」。体力がある男性の職場であり、トラックでの「事故」というイメージがある。

3 就職希望先としてのトラック運送業

運送業は運転手しかないと考えている。就職先としての選択肢に考えていない。教師は消極的であり、親は子がトラック運転手になることを反対している。

4 就職後の人材育成体制

運送業では「即戦力」を求めているが、学校側としては高校新卒者は3年程度段階を踏んだ人材育成計画による採用を求めている。

5 生徒のトラック等自動車に対する興味・関心

現在、男子生徒は自動車に関心・興味がない。トラック運転に必要な準中型免許、中型免許に関しては全くわからない。

6 今後の対応策について

人材確保とイメージアップを図るため、学校へ訪問し、運送会社の現状、取組や将来展望、就職した卒業生の近況等の運送業PRを積極的に行う。

また、教師はもとより、生徒と同時に親に対しても運送業に関する実態・情報をきめ細かに説明することが重要である。

県ト協 平成29年度 第5回理事会

福島県トラック協会第5回理事会が1月18日(木)にいわき市「小名浜オーシャンホテル」で理事25名、監事4名が出席し開催された。理事会冒頭に、昨年11月に国土交通大臣表彰を受賞された、磐城通運(株)代表取締役の興津 照昭氏に対する功労金贈呈式を行った。

功労金は右近会長より手渡され、磐城通運(株) 鈴木 孝雄 理事が代理で受取り議事へと移った。



【功労金を受取る鈴木理事】

○報告事項

- 1 中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送対応について
- 2 県トラック協会と高校進路アドバイザーとの意見交換会について
- 3 平成29年度年末年始安全総点検表（自動車輸送関係）集計報告書について
- 4 平成29年度各種助成事業執行見込について
- 5 平成29年度事故防止講習会開催結果について
- 6 平成29年度安全性評価事業（Gマーク）認定について（報告）
- 7 定款第26条第7項による職務執行報告について

○議 題

- 1号議案 平成30年度事業計画骨子（案）について
- 2号議案 組織・財政検討委員会答申（案）について
- 3号議案 入会会員及び退会会員について
- その 他
 - ①平成30年度定時総会の開催について
 - ②福島県交通遺児奨学基金への募金について
 - ③今後の行事予定について

【報告事項】

報告事項の1 中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送対応について、これまでの経過、トラック協会の対応等を報告した。

報告事項の2 県トラック協会と高校進路アドバイザーとの意見交換会について、東北で初めての取組となる、「高校進路アドバイザーとの意見交換会」を12月14日(木)福島市「コラッセふくしま」、21日(木)郡山市「郡山ビューホテルアネックス」において開催。

意見交換会には、県立・私立高校の進路アドバイザー、トラック協会の各地区理事のほか、福島労働局、福島人材派遣センターの担当者が参加し、それぞれの立場で活発に意見を交わしたことを報告した。

報告事項の3 平成29年度年末年始安全総点検表（自動車輸送関係）集計報告書について、福島運輸支局への提出者数が1,193社であったことを報告した。

報告事項の4 平成29年度各種助成事業執行見込について、1月10日現在の各種助事業執行状況を報告した。 ※各種助事業執行状況は6ページ参照

報告事項の5 平成29年度事故防止講習会開催結果について、昨年11月、12月に実施した事故防止講習会の出席者数(全6会場754名)を報告した。

報告事項の6 平成29年度安全性評価事業(Gマーク)認定について、今年度は135事業所(新規31、更新104)が認定されたことを報告した。 ※詳細は8ページ参照

報告事項の7 定款第26条第7項による職務執行報告について、理事会時点での平成29年度事業報告、主な行事経過、収支計算書対前年度の比較状況について報告した。

【議 題】

1号議案 平成30年度事業計画骨子(案)について

平成30年度の策定基調、事業計画における最重点・重点施策について提案し可決された。

2号議案 組織・財政検討委員会答申について

県トラック協会各支部への平成30年度支部交付金(運営費)交付額について提案し可決された。

3号議案 入会会員及び退会会員について

8社の入会、2社の退会が可決された。(承認後会員数1,200(賛助会員277含む))

その他 ①平成30年度定時総会の開催について

平成30年度定時総会を平成30年6月8日(金)13時30分より、郡山市「県中研修センター」で開催することを提案し可決された。

②福島県交通遺児奨学基金への募金について

福島県交通遺児基金へ30万円(内訳:トラックの日フェスタ募金150,972円、事故防止講習会募金81,628円にプラスして一般会計より67,400円の支出)寄付することを提案し可決した。

③今後の行事予定について

県トラック協会及び各支部の予定を説明した。

県ト協 人事異動

次のとおり人事異動がございましたのでお知らせいたします。

発令 2月1日付

役職(新採用)	氏名
適正化事業部係員	菅野 誠

音声ガイダンスの導入について

会員の皆さんへのサービス向上の一環として、このたび「音声ガイダンスサービス」を導入することといたしました。

これにより、用事のある部署に直接通じることによって会員各位の待ち時間短縮が図られます。何卒ご理解の程お願いいたします。 総務部

開始月日:平成30年3月1日より実施

県ト協 平成29年度各種助成事業執行状況

平成29年度の各種助成事業の平成30年1月25日現在の執行状況は下表のとおりとなっています。
 助成事業によっては、助成金申請書の提出期限前であっても、予算額に達した場合は申請しても助成されませんので十分注意してください。

また、「執行状況」については、本表作成時点後の申請状況により変わりますので、助成事業の利用を予定している方は、早めの申請をされるようにしてください。

平成30年1月25日現在

区分	助成事業名	制度の概要	助成額等	限度額	執行状況(%)
交通安全対策事業費	1 適性診断	運転者適性診断(一般・初任・適齢)の受診料の助成	一般診断 2,300円/人 初任診断 2,000円/人 適齢診断 2,000円/人	一人年1回	84
	2 睡眠時無呼吸症候群検査(SAS)	睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査に要する経費(第一次検査、第二次検査、再検査)の助成	5,000円/人	一人年1回 1会員50人まで	103
	3 脳ドック受診	運転手の健康管理のため、脳ドック受診に対する助成	10,000円/人	1会員5名まで	20
	4 ドライバー研修	安全運転研修施設にドライバー等を派遣訓練経費(受講料)に対する助成	全ト協主催の一般研修 10,000円/人(上限) 全ト協主催の特別研修 Gマーク取得事業所 その他 全額7割	1会員5名まで	締め切り間近です。
	5 EMS	EMS機器の導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2(上限40,000円)	1会員15台上限	85
	6 ドライブレコーダー	ドライブレコーダーの導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2 運行管理連携 40,000円 (20,000円) 標準型 20,000円 (20,000円) 簡易型 10,000円 (10,000円) ※()書きの金額は国の補助金を受けた場合	1会員15台上限	66
	7 安全装置	後方視野確認支援装置、側方視野確認支援装置、呼吸吹込み式アルコールインターロック、IT点呼に使用する携帯型アルコール検知器の導入に要した経費に対する助成	27,000円/台	1会員15台上限	81
	8 フォークリフト技能講習受講料	陸災防の行うフォークリフト運転技能講習の受講経費	4,000円/人		71
	9 衝突被害軽減ブレーキ装着車	中型車を対象に、衝突被害軽減ブレーキ装着車の導入に要した経費に対する助成	100,000円/台	1会員3台上限	1
	10 中型・大型免許助成	従業員に準中型免許、中型免許、大型免許、けん引免許を指定教習所で取得させた費用に対する助成	準中型免許 40,000円/人(上限) 中型免許(二種は除く) 50,000円/人(上限) 大型免許(二種は除く) 100,000円/人(上限) けん引免許 50,000円/人(上限) 中型限定解除 30,000円/人(上限) 準中型限定解除 20,000円/人(上限)	1会員50万円上限	締め切り間近です。
	11 定期健康診断	運転手の健康診断に対する助成	1,000円/人・年(上限)	車両台数上限	73
	12 SDカード	運転手のSDカード取得に対する助成	630円/人・年(上限)	車両台数上限	89
交通公害対策費	13 アイドリングストップ支援機器	アイドリングストップ支援機器の導入に要した経費に対する助成	電気式の毛布・マット・ベッド 15,000円/枚 エア・温水式ヒーター 60,000円/基 蓄冷式クーラー(リヤ・三菱) 50,000円/基 蓄冷式クーラー(ベッドルームクーラー・デンソー・UD) 50,000円/基 車載バッテリー式冷房装置 60,000円/基 ジェルマット 9,000円/枚	電気式の毛布・マット・ベッド 30枚 エア・温水式ヒーター 3基 蓄冷式クーラー・車載バッテリー式冷房装置 3基 ジェルマット 30枚	53
	14 ポスト新長期	ポスト新長期規制適合車を導入した経費	小型 新車 15,000円 中型 新車 30,000円 大型 新車 50,000円 ※CNG、ハイブリッドトラックについては要綱を参照のこと	15台	69
	15 エコタイヤ	エコタイヤ(転がり抵抗5%以上低減)を導入装着に要した経費	1,500円/本 車両数×1/3(四捨五入)×10本上限	150本	88
研修調査事業費	16 中小企業大学校	中小企業大学校の対象講座の受講料を受講した場合	受講料の2/3相当額		13
	17 グリーン経営認証	グリーン経営認証を取得又は更新した際の費用の一部を助成	新規取得 100,000円 更新 50,000円	1事業者1回/年 (支店、営業所の数にかかわらず年度内で1事業者につき取得・更新のどちらか1回)	締め切り間近です。
	18 経営診断	経営診断に要した経費の一部に対する助成	経営診断費用の1/2 80,000円限度 (Gマーク取得者は 100,000円限度)		0
基金運営事業費	19 近代化基金利子補給	物流施設整備資金、車両(ポスト新長期含)、省エネ機器等購入に要する資金借入に対する利子補給	近代化基金融資 利率 0.3% ポスト新長期車 " 0.3% 低公害車・省エネ関連機器 " 0.3%	近代化基金 1会員 3千5百万 ポスト新長期 1会員 7千万 低公害車等 1会員 3千5百万	86
	20 信用保証料	信用保証協会の一般保証料に対する助成	信用保証料の額が 50,000円まで 全額 50,000円～ 50,000円に50,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限 年度内 100,000円	33
	21 緊急制度資金信用保証	県制度資金等の保証料に対する助成	信用保証料の額が 100,000円まで 全額 100,000円～ 100,000円に100,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限 年度内 200,000円	44
	22 緊急制度資金利子助成	県ト協の保証料助成を受けたものに対する借入利子の助成	支払利子利率の0.8%(3年間)		73
事業正費化	23 運行管理者講習	運行管理者講習(一般、基礎)の受講料の一部に対する助成	一般講習 1,000円/人・年 基礎講習 4,000円/人・年	一般講習は選任管理者のみ 基礎講習は車両台数の10%を上限(端数切上げ)	76

注1)「制度の概要」は、助成制度の概略を記載したもので、詳細は助成要領等で確認してください。
 注2)本表は、会員を対象としたもので、Gマーク取得の非会員に対する助成措置は省略してあります。
 注3)「執行状況」は、予算額に対する執行率を「%」で表示します。概ね90%を超えたときは「締め切り間近」と、また、予算額に達した場合は「終了」と表示します。

県ト協 平成30年度優良従業員被表彰者の推薦について

表彰については、本年度も次の内容にて実施いたしますので下記の優良従業員被表彰者推薦書にて**所属支部へ推薦**いただくようお願いいたします。

1. 推薦締切日 **平成30年3月2日(金) 所属支部必着**
2. 推薦の基準 **勤続が10年以上継続**しており、なおかつ、**5年以上無事故・無違反**である優良従業員とし、**1事業所2名までとする**。
※いわき支部では支部長表彰受賞者からの選考となっております。
3. 表彰について 受賞者は(公社)福島県トラック協会定時総会において表彰されます。
※後日、各支部より表彰状及び記念品が配布されます。
4. その他
 - (1) 各支部で上限数を定め、表彰総数100名を基準とし、理事会において最終選考をおこないます。
 - (2) 推薦名簿には、順位を付してください。また、各項目とも脱落のないよう記入してください。特に、職名・勤続年数・無事故・無違反年数の記入漏れのないようにしてください。
②過去に本表彰を受けられた方は除外としますので、重複のないようご注意ください。
 - (3) 被推薦者**氏名の字画は間違いのないよう正確**に記入してください。
 - (4) 無事故・無違反については、特に証明書の添付は不要としますが、所属事業所において十分に確認のうえ、申請してください。

優良従業員被表彰者推薦書

支部長様

事業所名

推薦 順位	[所属事業所][職名] 氏名(ふりがな) 生年月日(歳)	勤続 年数	無事故 年数	推薦理由 表彰歴
	[] [] ふりがな 氏名 昭和 年 月 日生 (歳) 平成			[推薦理由] [表彰歴]
	[] [] ふりがな 氏名 昭和 年 月 日生 (歳) 平成			[推薦理由] [表彰歴]

適正化 135事業所が安全性評価事業所(Gマーク)認定

平成29年度貨物自動車運送事業安全性評価事業は昨年7月に申請受付を行い、トラック運送事業者の交通安全対策などへの事業所単位での取り組みを評価し、福島県内においては一定の基準をクリアした135事業所を認定した。

1月15日には福島市「福島研修センター」で安全性評価事業認定証授与式を開催し、新規に認定を受け、審査で高い評価を受けた事業所に認定証を交付した。これを受けて、本宮運輸(有)代表取締役 菅野 富夫 氏が代表者決意表明を実施した。



【決意表明する菅野氏】

この貨物自動車運送事業安全性評価事業は、利用者がより安全性の高い事業者を選びやすくするとともに、事業者全体の安全性の向上に対する意識を高める環境整備を図るため、事業者の安全性を正当に評価・認定・公表する制度で、今回の事業所の認定を含め福島県内の認定事業所は472事業所となった。

認定証授与式出席事業所

1	本宮運輸有限会社本社営業所
2	株式会社厚成社本社営業所
3	株式会社三葉陸運本社営業所
4	大信運送有限会社本社営業所
5	ジャパンフードライン株式会社郡山営業所
6	有限会社森ロジテム本社営業所
7	鈴木運輸株式会社本店営業所
8	有限会社丸信運輸本社営業所
9	株式会社シーエムシーネット通商会津営業所
10	太平洋陸送株式会社郡山営業所



【右近本部長を囲んでの集合写真】

平成29年度認定事業所

新規: 31事業所(有効期間:平成30年1月1日から2年間)

株式会社暁運輸 福島営業所	株式会社東昇流通 本社営業所	
熱海運送株式会社 西営業所	有限会社八大物流 本社営業所	
石黒物流株式会社 福島営業所	福島第一物流株式会社 いわき営業所	
大衡運送株式会社 郡山営業所	株式会社福島輸送 福島支社	
株式会社厚成社 本社	福島臨海鉄道株式会社 本社	
株式会社三葉陸運 本社営業所	有限会社丸信運輸 本社営業所	
株式会社シーエムシーネット通商 会津営業所	有限会社丸石運輸 本社営業所	
ジャパンフードライン株式会社 郡山	株式会社丸東 いわき	
鈴木運輸株式会社 本店	本宮運輸有限会社 本社	
誠和梱包運輸株式会社 郡山営業所	有限会社森ロジテム 本社営業所	
有限会社ゼスト福島営業所	株式会社ライフサポート・エガワ東北 福島支店	
大信運送有限会社 本社	非会員	
ダイセーロジスティクス株式会社 いわきハブセンター		株式会社サカイ引越センター 福島支社
太平洋陸送株式会社 郡山		株式会社新日本物流 郡山営業所
高田運輸株式会社 本社営業所		ヒタチ株式会社 郡山ハブセンター
株式会社円谷運送店 郡山		縫友運送株式会社 須賀川営業所

初回更新:27事業所(有効期間:平成30年1月1日から年間)

アートコーポレーション株式会社 いわき支店	株式会社滝田運輸 本社営業所
アートコーポレーション株式会社 郡山支店	株式会社円谷運送店 白河営業所
株式会社アストモスガスセンター東北 喜多方営業所	東北西濃運輸株式会社 福島営業所
石川運送株式会社 本社営業所	株式会社中村建運 会津営業所
磐城通運株式会社 小名浜支店小名浜製錬営業所	日本郵便輸送株式会社 福島営業所
岩代運送株式会社 本社営業所	福島通商株式会社 本社
上野輸送株式会社 小名浜事業所	株式会社福島北桑運輸 本社営業所
エムケー物流株式会社 本社	福島ロジネット株式会社 本社営業所
株式会社大崎 郡山	有限会社福弘運輸 本社営業所
カメイ物流サービス株式会社 白河営業所	双葉運輸株式会社 南相馬営業所
郡東エクスプレス株式会社 本社営業所	マルコー・トランスポート株式会社 福島営業所
郡山トラック運送株式会社 本社営業所	株式会社ユミタ運輸 本社営業所
須賀川陸運株式会社 本社営業所	吉川運輸株式会社 福島営業所
第一貨物株式会社 郡山支店	

2回目更新:42事業所(有効期間:平成30年1月1日から4年間)

株式会社アイエスシー 本社営業所	株式会社スカイ運輸 本宮営業所
青葉運輸有限会社 本社営業所	伊達貨物運送株式会社 本社営業所
株式会社アストモスガスセンター東北 いわき営業所	株式会社円谷運送店 若松営業所
株式会社アストモスガスセンター東北 郡山営業所	東北鉄道運輸株式会社 郡山営業所
株式会社アストモスガスセンター東北 白河営業所	東北三八五流通株式会社 郡山営業所
株式会社アストモスガスセンター東北 原町営業所	日軽物流株式会社 福島営業所
株式会社アストモスガスセンター東北 福島営業所	日通郡山運輸株式会社 福島営業所
熱海運送株式会社 本社営業所	日本通運株式会社 郡山給食センター
安立運輸株式会社 いわき営業所	日本フレートライナー株式会社 郡山営業所
株式会社イーストブレン 本社営業所	日本郵便株式会社 福島東郵便局
株式会社エフライン 本社営業所	野口運輸株式会社 郡山営業所
有限会社大泉運輸 小名浜営業所	野口運輸株式会社 本宮営業所
カメイ物流サービス株式会社 郡山営業所	迫トラック株式会社 郡山営業所
カメイ物流サービス株式会社 福島営業所	東日本倉庫株式会社 須賀川営業所
クリナップロジスティクス株式会社 いわき支店	福島空港運輸株式会社 本社営業所
高運送株式会社 福島営業所	福島倉庫株式会社 本社営業所
郡山運送株式会社 いわき営業所	福島第一物流株式会社 郡山営業所
郡山物流有限会社 安積営業所	フレッシュテック有限会社 本社営業所
鮫川運送株式会社 福島営業所	レンゴロジスティクス株式会社 福島営業所
鮫川運送株式会社 本社営業所	非会員 清興運輸株式会社 郡山営業所
株式会社スカイ運輸 喜多方営業所	セイノースーパーエクスプレス株式会社 福島営業所

3回目更新:35事業所(有効期間:平成30年1月1日から4年間)

会津本郷貨物運送株式会社 会津アピオ	有限会社原真運輸 本社営業所
ALSOK福島株式会社 福島営業所	福星運輸株式会社 本社営業所
ALSOK福島株式会社 本社営業所	株式会社ボルテックスセイグン 白河営業所
株式会社アルプス物流 小名浜営業所	ヤマト運輸株式会社 飯坂平野センター
いわきカーゴ株式会社 小名浜営業所	ヤマト運輸株式会社 石川センター
大竹運送株式会社 本社営業所	ヤマト運輸株式会社 いわき植田センター
株式会社片桐運輸 本社営業所	ヤマト運輸株式会社 いわき四倉センター
カメイ物流サービス株式会社 いわき営業所	ヤマト運輸株式会社 小野センター
郡山運送株式会社 給食センター	ヤマト運輸株式会社 川俣センター
株式会社昭和運送店 本社営業所	ヤマト運輸株式会社 白河結城センター
株式会社新開トランスポートシステムズ STS福島センター	ヤマト運輸株式会社 須賀川西川センター
東北王子運送株式会社 いわき営業所	ヤマト運輸株式会社 二本松支店
東北王子運送株式会社 白河営業所	ヤマト運輸株式会社 福島鎌田センター
東北王子運送株式会社 福島営業所	ヤマト運輸株式会社 福島松川センター
株式会社東北デイリーサービス 郡山営業所	ヤマト運輸株式会社 福島八島センター
東北三八五流通株式会社 いわき営業所	ヤマト運輸株式会社 矢吹支店
日通郡山運輸株式会社 本社営業所	非会員 ヤマトボックスチャーター株式会社 福島支店
日本通運株式会社 重機建設課	



Gマーク認定ステッカーの適切な使用について



Gマーク制度の信頼性を維持するためにも、車両に貼付される「Gマーク」ステッカーの適切な使用をお願いします。

以下の「Gマーク」ステッカーの貼付は不正使用となり、是正されない場合は認定を取り消します。

適切ではない使用例



※ 2018年1月以降に貼付されている場合



**有効期限が過ぎた
ステッカーの貼付**

**有効期限を隠滅した
ステッカーの貼付**

**車両を売却する際には「Gマーク」ステッカーを剥がしていただく等、
Gマーク認定事業所が正しく認知されるようにして下さい。**

「Gマーク」ステッカー貼付車両による法令違反や法定速度超過、無理な割り込みや無謀運転等の悪質な行為に対する苦情、問合せが多発しております。

Gマーク制度の信頼性を維持するため、安全性優良事業所が他事業所の模範となるよう所属ドライバーに対する指導・教育の更なる徹底をお願いするとともに、安全運行の徹底方お願い致します。

適正化 安全性優良事業所(Gマーク事業所)に係る 主な輸送品目及びホームページのリンクについて

安全性優良事業所に認定されている事業所は、全日本トラック協会のホームページで事業所名・住所・電話番号を公表しておりますが、荷主企業等に対する安全性優良事業所の更なるPR活動に繋げるため、安全性優良事業所の任意参加により、全日本トラック協会ホームページに当該事業所の ①主な輸送品目の掲載 ②ホームページのリンク の2点を追加することが可能となっております。

ホームページに掲載、リンクを希望される事業所につきましては、専用の申込書に必要事項を記入のうえ「当協会適正化事業部」までご送付ください。

※申込書は、全日本トラック協会ホームページよりダウンロードすることができます。

支部 県北支部がボウリング大会を開催

県北支部、陸災防県北分会は健康増進を目的として、1月13日(土)に福島市「からしまボウル」においてボウリング大会を共同開催し、30チーム(120名)が参加した。



当日は家族連れでの参加者もあり、家庭サービスと会員同士の親睦も図れた有意義な大会をととなった。



個人戦

佐竹運輸(株) 佐藤俊美氏

団体戦

佐竹運輸(株)



個人戦

(有)サエキ輸送 景山勝幸氏

団体戦

JAパールライン福島(株)

支部 会津支部が安全大会を開催



会津支部と陸災防会津分会(菅野高志支部(分会)長)との共同開催で安全大会を1月13日(土)に会津若松市「ルネッサンス中の島」において開催し、支部会員事業所から72名が参加した。

大会では優良管理者・優良従業員19名に対する表彰式が行われ、表彰者一人一人に表彰状が手渡されたのち、「物流事業を取り巻く現状と課題について」と題した基調講演を(公社)全日本トラック協会 常務理事 山崎薫氏が行い、最後に安全宣言を全会一致で採択した。

全ト協

引越事業者優良認定制度(引越安心マーク)認定事業者を発表



制度創設後初めての更新申請審査を行い、
総認定事業者数は、323事業者(1,862事業所)に!

◎制度の目的、概要、認定状況

引越事業者優良認定制度は、消費者に安心・安全な引越サービスを提供する事業者の情報を提供し、引越における苦情やトラブルの防止を目指すことを目的として、平成26年度に創設し、引越事業者または引越事業者で構成する共通の引越サービス名称を使用するグループを認定の単位として、客観的に評価・認定している。(公社)全日本トラック協会(坂本克己会長)は、平成29年12月14日(木)に「引越事業者優良認定制度(引越安心マーク)」の認定事業者を発表した。

制度4年目となる今年度は、新規申請と制度創設後初めてとなる更新申請両方の受付を行い、引越サービス名称単位で申請総数248事業者(1,630事業所)のうち241事業者(1,620事業所)を引越優良事業者に認定。そのうち新規認定は28事業者(40事業所)、更新認定は213事業者(1,580事業所)。これにより、これまで認定された事業者と併せて12月14日現在、323事業者(1,862事業所)が「引越安心マーク事業者」として認定を受け、車両のステッカーや宣伝媒体などに「引越安心マーク」を使用することを許可されることとなる。

◎引越事業者優良認定制度の目的は、以下の3つを柱としています。

- (1) 安全・安心な事業者の見える化
事業者の責任を明確化し、消費者が安心して引越を委託することができる事業者を選択しやすい環境をつくる。
- (2) 引越業界全体のコンプライアンスの向上
貨物自動車運送事業法や標準引越運送約款、消費者関係法令等の遵守を誓約し、その体制が整っている事業者を認定することにより、引越業界全体のコンプライアンスの向上を目指す。
- (3) 引越における苦情やトラブルの防止
苦情やトラブルを未然に防ぐための社内教育や責任ある対応ができる体制等が整っている事業者を認定することにより、引越における苦情やトラブルの防止を目指す。

◎申請資格

- (1) 引越に関わる全ての事業所(営業所)に、全日本トラック協会が申請の前年から3年度以内に行った引越管理者講習を修了した者が1名以上在籍していること。
- (2) 引越に関わる全ての事業所(営業所)が、「安全性優良事業所」(Gマーク認定事業所)であること、または「安全性優良事業所」に準ずる取扱いを行う審査基準を満たしていること。

◎審査基準

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| (1) 引越における約款を遵守していること | (5) 適正な廃棄物処理等を行っていること |
| (2) 苦情等に対する対応体制及び責任の所在の明確化を図っていること | (6) 適切な個人情報の取扱いを行っていること |
| (3) 適切な従業員教育を行っていること | (7) 制度の信用を損なう行為又は信用を損なう恐れのある行為がないこと |
| (4) 適正な広告表示を行っていること | |

◎引越優良事業者の有効期間

平成30年1月1日～平成32年12月31日までの3年間

※その後は、3年ごとに更新審査を行う予定

適正化 運行管理者試験対策模擬テストについて

平成29年度第2回運行管理者試験は、平成30年3月4日(日)に実施されますが、さらに合格率向上を図るため、試験日前の2月23日(金)に過去の出題例等を基に模擬テストを実施いたします。

つきましては、参加希望の方は下記により申込みください。

敬具

参考

平成29年度 第1回運管試験

- 全国平均合格率 35.0%
- 福島県平均合格率 35.6%
- 勉強会+模擬テスト参加者合格率 **63.2%**

記

- 1 日時 平成30年2月23日(金) 9:00 ~ 17:30
- 2 場所 福島市「(公社)福島県トラック協会 福島研修センター」
問合せ 〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32
Tel024-558-7755 Fax024-558-7731
- 3 内容 模擬テストの実施及び解答・解説
- 4 参加費 **参加費は無料です。**
- 5 定員 120名 (定員になり次第、締め切りいたします)
- 6 申込み 下記申込書に記入し、2月15日(木)までにFAXにより申込みください。

※当日は筆記用具(鉛筆、消しゴム)を持参してください。(資料はこちらで準備します)

※昼食は各自で準備してください

※当日は参加申込状況により駐車スペースが不足することも考えられますので、複数で申込の場合は可能な限り相乗りしてご来場いただけますようご協力をお願いいたします。

運行管理者試験対策模擬テスト参加申込書

- 1 事業所名 _____
- 2 参加者名 _____
- 3 所属支部 (○で囲む) 県北 県中 県南 会津 相双 いわき
- 4 電話番号 _____ FAX _____

※電話・FAXは日中連絡が取れる番号

送信先 / (公社) 福島県トラック協会 FAX 024-558-7731 担当: 玉川

陸 災 防 技能講習等実施予定

【フォークリフト運転技能講習】

開催地	学科	講 習 開 催 日			
		実 技			
郡 山⑩ いわき⑪	30(金)	1: 6(火) ~ 8(木)	2: 13(火) ~ 15(木)	3: 22(木) ~ 24(土)	4: 27(火) ~ 29(木)
	28(水)	1: 6(火) ~ 8(木)	2: 13(火) ~ 15(木)	3: 22(木) ~ 24(土)	

※郡山⑩学科の〔 〕はPM:自動車運転免許証を有しない者対象

【車両系荷役運搬機械等作業指揮者安全教育講習】 【はい作業主任者技能講習】

開催地	講習開催日	開催地	講習開催日
郡 山	3月 8(木)	郡 山	3月 14(水) 15(木)

※講習に関する詳細はホームページでご確認ください。 [Http://www.f-rikusai.org/](http://www.f-rikusai.org/)

陸災防福島県支部

検索

陸 災 防 第2回「安全衛生レベルアップ支援事業」研修会を開催

陸災防福島県支部は、1月12日(金)福島県トラック協会研修センターにおいて、会員7事業場14名が参加し第2回「安全衛生レベルアップ支援事業」研修会を開催した。研修会は、各事業場がこれまで取り組んできた中間評価を行った後、陸災防本部の堀野安全管理士を講師としてリスクアセスメントの具体的な取り組み方法について学んだ。今回の研修会では、参加事業場の職場リーダーも加え、先取り型安全管理手法としての「リスクアセスメント」の取り組みをメインテーマとして、グループによる演習を含めて熱心な討議と各グループの成果発表を行い、職場での更なる取り組みを誓い合った。



【リスクアセスメント演習】

陸 災 防 平成29年度 第4回陸災防支部委員会を開催



陸災防福島県支部第回支部委員会（役員会）は、1月18日(木)いわき市「小名浜オーシャンホテル」において、支部役員および各分会事務局長15名が出席し開催された。冒頭、右近支部長が挨拶し議事に入り、報告事項と議案が承認された。

○報告事項

1. 労働災害発生状況
2. 主な経過
3. 「第12次陸上貨物運送事業労働災害防止計画目標達成取組強化運動」
4. 平成29年度安全衛生レベルアップ支援事業の取組みについて

○議 題

第1号議案 平成29年度決算見通しについて

○その他

1. 「ロールボックスパレット安全作業研修会」の開催について
2. 「フォークリフト荷役技能検定」の実施について
3. 平成30年度フォークリフト運転競技大会の開催について

県ト協

トレーラの適正な使用等に係る研修会を開催

トレーラの適正な使用等に係る研修会は、1月10日(水)に郡山市「県中研修センター」において52名が出席し、(一社)日本自動車車体工業会、当協会の共催により開催した。

同研修会は新たに制作したビデオを用いてより理解しやすい内容となっており、出席者は、①トレーラの火災事故防止のための日常点検

及び定期点検整備の重要性について、②トレーラ輸送による輸送効率向上、③トレーラの安全装置(ABS、横転抑制通知)とその有効性について専門講師よりレクチャーを受けた。

トレーラの適正な使用に関しては、より確実な保守管理の実施、継続的な保守管理の徹底を図るよう国土交通省より通達が発出されている。



支部

いわき支部が安全運転ドライバー研修会を開催



【挨拶する割谷副支部長】

1月13日(土)にいわき市にある「タイヘイドライバーズスクール」において、支部会員事業所ドライバーを対象に今年度最後(4回目)の開催となる「第26回 安全運転ドライバー研修会」を実施した。

今回は午前の部のみの開催で、12名が参加し、道交法等の座学、実際にコースに出ての実技を行い、ドライバーとしてのスキルアップを図った。

同研修会については、平成30年度も4回開催のほか、高齢ドライバーを対象とした研修会開催も予定している。

会員だより

新規入会事業所

支部	店・社名	代表者名	郵便番号	住所	車両台数
相双	(有)小高建設	田畑秀樹	979-2122	南相馬市小高区南町2丁目2番地	5

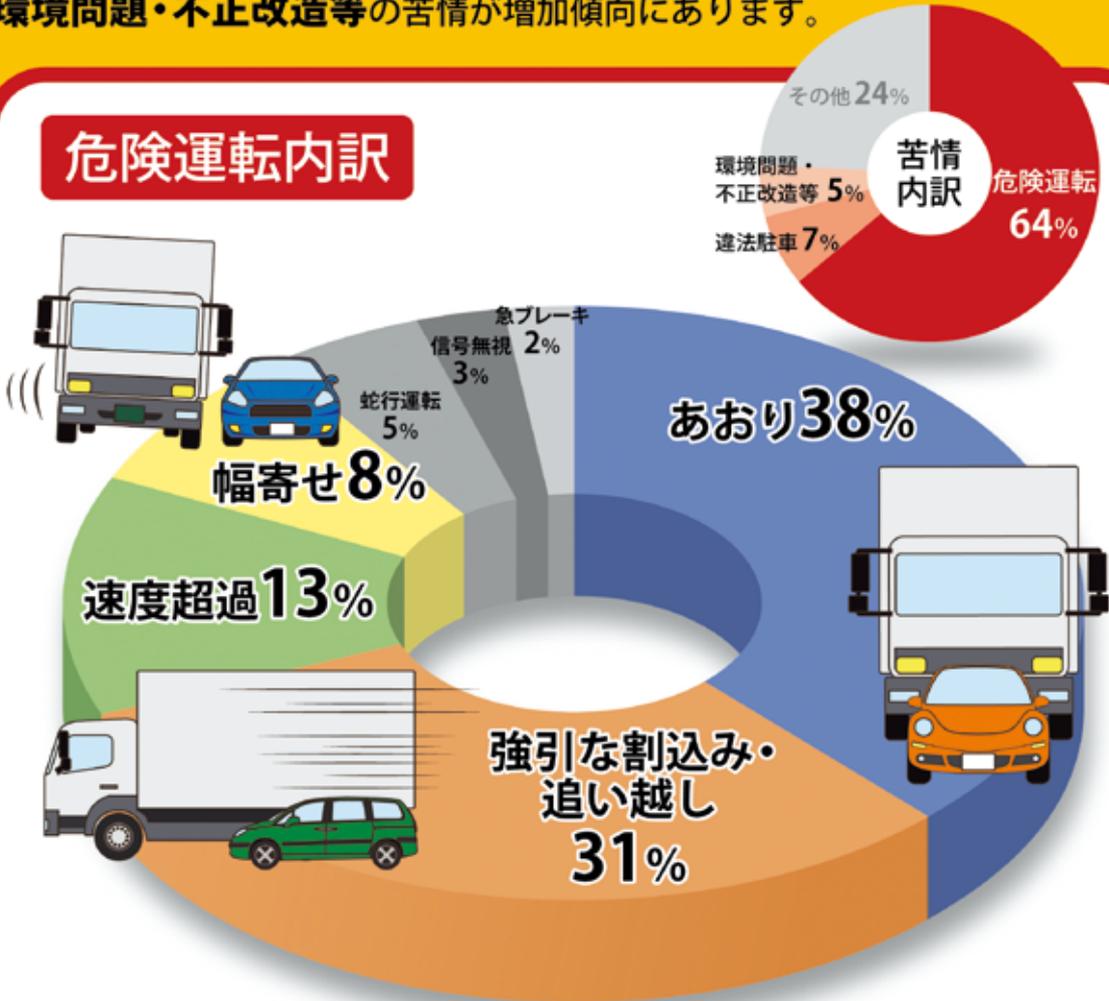
会員名簿変更

ページ	事業所名	変更事項	新	旧
3	(株)ジャパンキャリアネット	事業所名	福島建運(株)	(株)ジャパンキャリアネット
9	(株)バイタルエクスプレス福島営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	渡辺正人	相澤三夫
21	(有)玉橋	代表者 (支店・営業所代表者)	田島 薫	玉橋 悠
50	(株)港運送	郵便番号 住所	974-8242 いわき市南台1丁目8-5	972-0164 いわき市遠野町深山田字原前41番2
53	(株)誠光運輸いわき営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	加藤雅美	桑折寄吉

STOP! 危険運転

近年、地方適正化事業実施機関に寄せられる、危険運転、違法駐車、環境問題・不正改造等の苦情が増加傾向にあります。

危険運転内訳



(平成 28 年度実績)

トラックドライバーが大丈夫と思う行為も乗用車から見ると危険運転になってしまう場合があります。

安全運転を心掛けましょう。



公益社団法人 全日本トラック協会

全国貨物自動車運送適正化事業実施機関

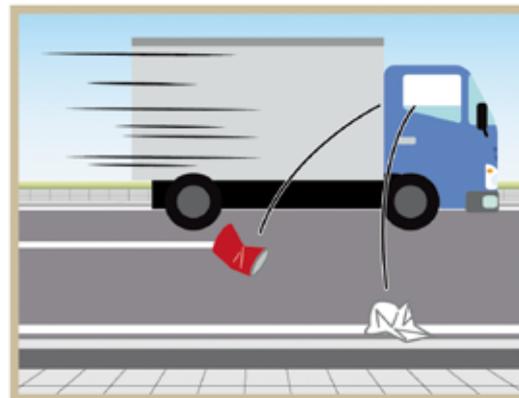
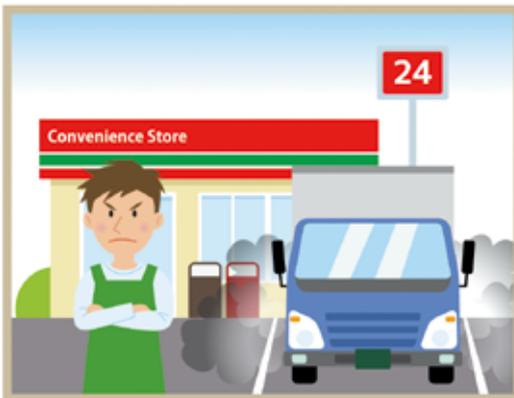
違法行為をしていませんか？

違法駐車、運転中のスマホ操作は
違法行為なのでやめましょう。



運転マナーを守っていますか？

長時間にわたる駐車やアイドリング、ゴミのポイ捨ては
マナー違反なのでやめましょう。



公益社団法人
全日本トラック協会

全国貨物自動車運送適正化事業実施機関

2月の行事予定

日程	行事内容	開催場所
6日(火)	青年部会第3回 正・副部長・事務局長会議	郡山市「ビッグパレットふくしま」
9日(金)	運行管理者試験受験対策勉強会	福島市「福島研修センター」
10日(土)		
23日(金)	第3回交付金運営委員会	郡山市「県中研修センター」
	第2回適正化事業推進委員会	
	運行管理者試験対策模擬テスト	福島市「福島研修センター」
27日(火)	原価意識強化セミナー	郡山市「県中研修センター」

協同組合 平成29年度ふくトラネットワーク協同組合 KIT情報

「Web KIT」 荷物（求車）・車両（求荷）の情報登録・成約件数

※表にはKIT外成立は含みません

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	増減
荷物(求車)登録件数	361件	324件	196件	317件	380件	374件	488件	536件	600件				3,576件	3,064件	+512件
荷物(求車)成約件数	123件	92件	81件	86件	107件	104件	97件	98件	114件				902件	955件	-53件
成約率	34.1%	28.4%	41.3%	27.1%	28.2%	27.8%	19.9%	18.3%	19.0%				25.2%	31.2%	-5.9ポイント
車両(求荷)登録件数	218件	231件	276件	248件	194件	238件	188件	189件	174件				1,956件	1,823件	+133件
車両(求荷)成約件数	166件	157件	197件	155件	125件	154件	136件	144件	143件				1,377件	1,292件	+85件
成約率	76.1%	68.0%	71.4%	62.5%	64.4%	64.7%	72.3%	76.2%	82.2%				70.4%	70.9%	-0.5ポイント

お知らせ 交通事故統計

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況は平成28年に比べ平成29年では発生件数（+13）、死者数（+1）、傷者数（+16）となっている。交通規則を守ることは、社会人としての基本的な責務です。会員事業所におかれましても、プロドライバーとして、より一層の交通安全対策をお願いします。

交通ルールの遵守、思いやり運転等交通マナーアップ 交差点での安全確認の励行 速度の抑制

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況（12月末）

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平成28年 に比べて の増減数	年間合計		
28年 (概数)	発生件数	9	5	11	7	7	5	5	7	8	8	6	10	89			89 4 104	89
	死者数				1			1				1		3		4		
	傷者数	11	11	12	6	8	6	5	7	11	10	6	10	104		104		
29年 (概数)	発生件数	8	14	13	10	7	3	12	11	7	8	7	2	102	+13			
	死者数								1	1		1	1	4	+1			
	傷者数	9	19	18	11	8	5	13	12	8	9	6	2	120	+16			



トラック広報 わだち2月号 (通巻445号)

平成30年2月1日発行 (毎月1回1日)
 編集発行 公益社団法人福島県トラック協会
 〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32
 TEL 024-558-7755(代) FAX 024-558-7731
 H.P http://fukutora.lat37n.com/

